

「当院のダブルバルーン内視鏡を用いた 内視鏡的逆行性胆管膵管造影の治療成績」

この研究に関する科学的・倫理的妥当性については、当院の「臨床研究審査委員会」で審議され、その実施について病院長より許可を得ています。この研究の実施期間は、2024年3月13日から2026年3月31日までを予定しています。

【研究の意義・目的】

胃癌や膵癌などの外科治療歴がある患者は術後再建腸管となっています。そういった患者が胆・膵疾患を来した場合には通常通りの内視鏡的逆行性胆管膵管造影（ERCP）を施行することはできず、バルーンを付属した内視鏡を用いて小腸を経由し、十二指腸乳頭や胆管空腸吻合部まで到達してからの ERCP を行う必要があります。通常通りの ERCP と比較すると検査工程が増えるため、通常の検査よりも高い技術が要求され、通常よりも長い検査時間を要します。

今回我々は当院でダブルバルーン内視鏡を用いた内視鏡的逆行性胆管膵管造影（DBE-ERCP）を施行した症例・検査を後方視的に検討することにより、当院の DBE-ERCP の状況を把握し、手技の改善を図ります。

【研究の対象】

小倉記念病院において2020年10月1日から2024年1月31日の間に、当院で DBE-ERCP を施行した患者さんを対象としています。

【研究の方法および情報の取扱い】

ご提供いただく情報は、診断名、年齢、身長、体重、既往歴、検査結果、治療方針、治療後経過、試料・情報などです。これらの情報は、通常の診療で得られた診療記録より抽出しますので、新たに身体的及び経済的負担が生じることはありません。

得られた情報は、個人情報漏えいを防ぐため、お名前、住所などの個人を特定する情報を削除した上で研究用の番号で管理し、小倉記念病院病院長の責任の下、保管・管理されます。また、本研究の結果について学会発表や論文掲載等を行う際は、個人が特定できる情報が含まれないようにした上で、公表します。

【利益相反について】

この研究は特定の研究者や企業の利益の為にを行うものではありません。また、この研究により患者さんの利益（効果や安全性など）が損なわれることもありません。

【連絡・問い合わせ先】

この研究や個人情報の取扱いに関するご質問やご相談等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。またご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますので

お申し出ください。

なお、対象となる患者さんの情報がこの研究に用いられることについて、患者さん（もしくは患者さんの代理人）にご了承いただけない場合には、研究対象としないのでお申し出ください。その場合でも診療上の不利益が生じることはありません。

連絡先：

小倉記念病院 消化器内科 担当者 野口 達矢
〒802-8555 北九州市小倉北区浅野三丁目2番1号
電話 093-511-2000（代）